



富桑まちづくりだより 第15号

「交流・共感・共生」



No. **15**
FY 2022
FUSO

INDEX

- 02 まちづくり協議会
- 04 富桑地区自治会
- 05 老人クラブ連合会
- 06 富桑地区体育会
- 07 健康づくり推進員協議会
 しゃんしゃん体操普及の会
- 08 同和教育推進協議会
- 10 特集「小地域学習会」
- 12 社会福祉協議会
- 13 青少年育成協議会
 交通安全協会 富桑支部
- 14 民生・児童委員協議会
- 15 西人権福祉センター
- 16 西品治児童館
- 17 富桑地区公民館
- 20 寄稿・奥付

PHOTO TAKEBE ISAO [Date taken:2021/01/04]

まちづくり協議会

会長 西川 照夫



交流・共感・共生のまち ふそう

会長 西川 照夫

富桑地区のみなさまには、平素より地域活動にご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

近年地球温暖化の影響で、日本各地で地震、水害等大災害が発生しています。また、今年度も新型コロナウイルス感染症が絶えません。この感染症に「うつらない。うつさない。」よう、皆さんが気をつけて日常生活を続けていただきたいと思います。

富桑まちづくり協議会は、「人権と福祉のまち」「災害に強いまち」を目指し、それぞれの組織や各種団体が連携し、「交流・共感・共生」のテーマのもと具体的な諸行事を行っています。

富桑地区を活性化、発展につなげて富桑に住むみなさんが「安全で安心して住めるまち」になるよう取り組んでいます。

引き続き富桑まちづくり協議会に対し、皆さまのご理解、ご支援、ご協力をお願いいたします。

まちづくり協議会とは…

鳥取市では、市民と行政が適切な協力関係で支え合う「市民と行政による協働のまちづくり」の実現を目指し、市内61地区公民館単位で、各種の取り組みを進めています。

地域をよりよいものにしていくため、自分たちのまわりでどのような課題があるかを地域住民の視点で検討し、地域が一体となって課題解決に向けて取り組む組織です。

富桑まちづくり協議会は、1996年6月に制定された「富桑地区人権宣言」の趣意に基づき、「交流・共感・共生」の社会実現をめざし、地域の身近な課題解決に向けて全住民が結束することを基本方針としています。



富桑まちづくり協議会の目標・ロゴマーク

【目標】

「交流・共感・共生のまち ふそう」

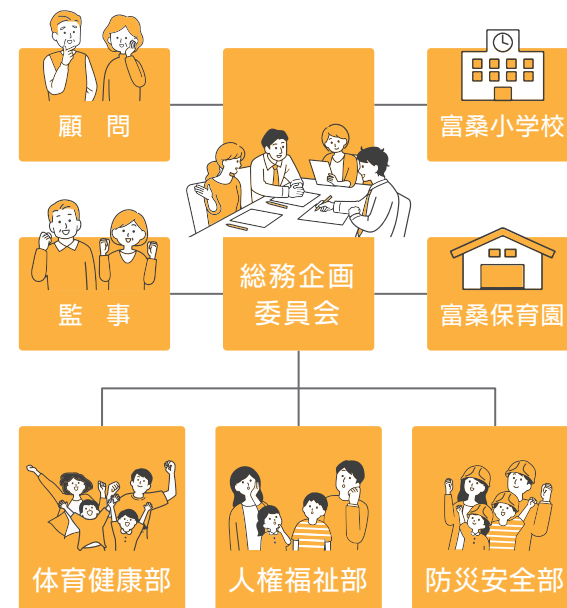
- 1 健康でぬくもりのある優しいまち
- 2 歴史と文化を大切にするまち
- 3 人権を尊重し、弱い立場の人を大切にするまち
- 4 安全で安心のまち

【ロゴマーク】



富桑地区が老若男女みんなで手をつなぎ、住みやすい地域、仲の良い人間関係をつくろうという願いで「第1回富桑地区大文化祭」のときに、このマークができました。

富桑まちづくり協議会組織図



各部の活動内容は次のページ

防災安全部

防災安全部長 田部 聡

今年度は、防災倉庫を小学校敷地内に新設しました。災害時の避難所運営がスムーズに行えるよう運営体制の強化を図っていきます。

災害時には地域の防災対応能力が試され、平素からの防災安全部の活動と地域住民の理解・協力が必要です。

災害を乗り越えるため、地域住民が共に助け合えるよう防災知識の高揚に努め、鳥取市や富桑小学校とも強力な連携体制を築き、避難者の救済に尽力したいと思っています。

防災に対するご意見ご要望等がありましたら、防災安全部にお寄せください。共に地域防災のために貢献できれば幸いです。

● 防災リーダー研修会

・防災講演会(12/17)

演題『災害は忘れたところに』

講師 榎原 聡美さん

(川辺復興プロジェクト「あるく」代表)



▲ 防災講演会

体育健康部

体育健康部長 本城 睦子

千代川河川敷で恒例のグラウンドゴルフ大会を開催しました。熱戦が繰り広げられ、行徳3区親和会Aが優勝されました。

小学校相撲大会では、メダルを授与しました。この中から落合関を目指してほしいものです。

小学校3年生に『富桑音頭』の歴史と踊りを指導しました。来年度は大運動会で一緒に踊れることを願っています。



人権福祉部

人権福祉部長 高田 義昭

◆ 日頃から、困りごと等なんでも気軽に相談できる仲間を作りましょう。

◆ 人間関係・福祉関係共に、差別は多岐にわたり日常発生しております。

・「やさしさのある丁寧な対応」

・行動の前に「心のゆとり、一呼吸おいて物事を考えよう！…」

◆ 交流・共感・共生の実践



● 人権講演会(9/17)

演題『部落差別は今』

講師 下吉 真二さん

(倉吉市人権文化センター所長)

● 人権講演会(2/18)

演題『もう少しだけスピードを上げて』

講師 江嶋 修作さん(解放社会学研究所所長)

● 福祉講演会(3/3)

演題『コロナ禍で変わったみとり』

講師 徳永 進さん(野の花診療所院長)



▲ 人権講演会(2/18)



▲ 福祉講演会(3/3)

● 富桑地区グラウンドゴルフ大会(5/28)

● 健康講演会(6/18)

● 富桑地区ペタンク大会(6/25)

● 富桑小学校相撲大会支援(10/20)

● 富桑スポーツまつり(1/21)



▲ 富桑地区グラウンドゴルフ大会



▲ 富桑小学校相撲大会支援

自治会

会長 西川 照夫

町内会長紹介

2023年3月 現在

行徳1区	西上 昌男
行徳2区	福田 睦史
行徳3区	小林 順吉
千代町1区	飼牛 栄輔
千代町2区	平井 伸治
千代町3区	平田 明
元品治	井谷 紀夫
元品治2区	水口 誠
寿団地	西川 照夫
新茶屋	山部 英之
西品治1区	池本 進
西品治2区	中原 靖仁
西品治3区	山田 利保
西品治4区	水口 稔
西品治5区	西川 秋夫
西品治6区	杉本 博美
西品治7区	甲木 由徳
田島2区	岸田 安雄
西品治団地	濱本 豊
平成町	田部 聡
西品治北団地	古田 三雄

2022年度 自治会役員紹介

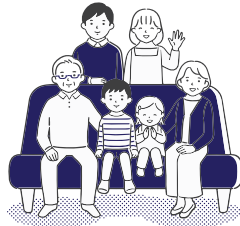
2023年3月 現在

会長	西川 照夫	(寿団地)
副会長	水口 稔	(西品治4区)
	福田 睦史	(行徳2区)
	井谷 紀夫	(元品治)
監事	西上 昌男	(行徳1区)
	田部 聡	(平成町)
	山田 利保	(西品治3区)

自治会とは…

自治会は、一定の区域に住む人々が自主的に構成する任意の団体です。

区域内に住んでいる人は、誰でも自治会員になることができます。性別、年齢などの条件はなく、日常生活の中での様々な地域課題を解決し、住民同士が協力・連携して自分たちの町を住みやすくしていくことを目的としています。



1. 安全・安心

犯罪のない、安全で安心なまちづくりのため、防犯灯の維持管理、パトロール等を行っています。

2. 情報の伝達

生活に欠かせない自治会(町内会)の情報や、市からの情報について、回覧や配布物などでお知らせしています。

3. 生活環境の維持・向上

きれいで快適な生活環境を維持するため、ゴミステーションの管理、道路や公園の清掃・草刈りなどを行っています。

4. 住人同士の親睦

お祭りや運動会、敬老会などを実施して、地域の住民相互のふれあいや、子どもから高齢者の方までの世代間交流を図っています。

5. 相互の助け合い

誰もが地域で安心して健やかに暮らせるように、地域のみなで見守り、支えあう福祉活動や青少年健全育成活動を行っています。



▲ 2023年新春懇話会

老人クラブ連合会

会長 石黒 秀司



健康寿命100歳時代に到来 フレイルに負けないぞ

会長 石黒 秀司

富桑地区の皆様には、老人クラブの活動に格別のご理解とご支援を賜り誠にありがとうございます。心より御礼申し上げます。

これからも健康で楽しい人生を送れるよう努力していききたいと思います。

老人クラブの活動は地域での交流で公民館を中心に、小学校、保育園、西人権福祉センター等、関係団体との緊密な連携の基に進められていると考えます。

高齢化のなか会員の減少もあり、若手会員の加入促進が急務であります。

ニューリーダーの育成で“信頼と調和”の下に無くてはならないグループとしていきたいです。

今後更なるご支援をお願い申し上げます。

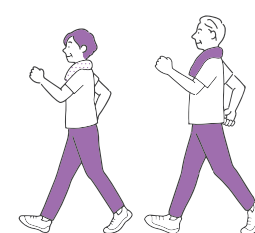
健康

健康づくり

- グラウンドゴルフ(10/6 白兔GG)
- モルック ● 介護予防 ● eスポーツ



▲ グラウンドゴルフ



友愛

ふれあい活動

- 友愛福祉タオル(6施設へ182枚寄贈)
- 役員交流研修会(11/17 山紫苑)



▲ 役員交流研修会

奉仕

奉仕活動

- 街頭共同募金(10/4)
- 保・小・公民館周辺の除草
- 全市・国一斉社会奉仕
9/21・22 小学校
2023.3頃 公民館・保育園 予定



▲ 全市・国一斉社会奉仕

安全安心活動

- 子ども見守り隊
- 安全パトロール
- 高齢者交通安全教室及び
特殊詐欺被害防止研修会(10/28 公民館)



▲ 子ども見守り隊



▲ 高齢者交通安全教室及び特殊詐欺被害防止研修会

あなたも参加しませんか！

行徳1区「仲よし会」

行徳2区「豊友会」

行徳3区「親和会」

寿団地「ことぶきの会」

元品治「にこにこクラブ」

本年度会員数227名(2022.7.7現在)

加入のメリット

- ①健康づくり
- ②友だちづくり
- ③生きがいづくり
- ④地域に貢献

これからの人生を
魅力ある楽しいものに

富桑地区老人クラブ連合会
ご加入をお待ちしております

☎27-4585(公民館)



体育会

会長 古田 真治



会長 古田 真治

新型コロナウイルス感染症から3年が経ち、未だに私達の生活環境に大きな影響を与えています。

コロナ禍が続く中、一昨年より続けてきたニュースポーツ体験は、昨年以上に感染対策を講じながら実施することができました。

高齢化と新しい生活様式に伴い、今後もコロナのせいではなく、コロナだからできる健康の保持・増進に努めてまいりたいと思います。

これからも体育会へのご支援、ご協力をお願いいたします。

2022年度 活動内容①

- 第26回富桑地区グラウンドゴルフ大会(5/28)
24チーム 71人参加

優勝 行徳3区親和会A



▲ 第26回富桑地区グラウンドゴルフ大会

- 富桑地区ペタンク大会(6/25) [共催:まちづくり協議会]
12チーム 40人参加

優勝 行徳3区



▲ 富桑地区ペタンク大会

2022年度 活動内容②

- 富桑スポーツまつり [共催:まちづくり協議会]
・第2回富桑地区モルック大会(1/21)
16チーム 50名参加

優勝 シニアの部 千代町3区
ヤングの部 古田チーム
ファミリーの部 栄チーム

- ニュースポーツ体験(7~2月 第3金曜日)
モルック、ボッチャ、ほおるんビンゴ
延べ80人参加 [共催:富桑地区公民館]

- eスポーツ体験(12~2月)
Nintendo Switchで「太鼓の達人」や「Nintendo Switch Sports」などの体験
延べ40人参加 [共催:富桑地区公民館]



▲ 第2回富桑地区モルック大会



▲ eスポーツ体験

第65回 鳥取市民体育祭

新型コロナウイルス感染症の影響により、10競技中7種目に参加

総合成績 Bグループ6位

- 参加競技
 - ・バスケットボール(2位)
 - ・女子バレーボール
 - ・グラウンドゴルフ
 - ・卓球
 - ・テニス
 - ・ゲートボール
 - ・ペタンク



健康づくり推進員協議会

会長 井谷 明美

「元気で楽しく暮らせるまち」を目指して、他団体と連携をとりながら、様々な活動をしています。

富桑地区は、他の地域と比べて健診受診率が低いといわれています。“健康”で長く生活していくためにみんなが『健診』を受けましょう。

いろいろ実施している健康づくり活動に参加して、元気で生き生きとした生活が送れるよう健康づくりの輪を広げていきましょう。

会 長 井谷 明美
副会長 西上 昌男 推進員 21名
安達 友子



活動目標

1. 一人ひとりが自分に合った運動を見つけ、楽しみながら実践できるよう習慣化を目指します。
2. フレイル予防の知識の普及を図り、運動習慣づくりの大切さを知ってもらう。

2022年度 活動内容

- 早朝歩こう会(7・8月)
- 健康講演会(6/18)
- ふそう保健室(8/5)
- ココカラ体操



▲ 健康講演会



▲ ふそう保健室

しゃんしゃん体操普及の会

会長 安達 マサミ

『しゃんしゃん体操』は、介護予防と地域のふれあい交流を目的として、鳥取市でつくられた体操です。

新聞紙を丸めた手作りの棒を使い、鳥取市の「しゃんしゃん傘踊り」の音楽に合わせて行う1曲5分程度の体操をします。

いつまでも「しゃん」と背を伸ばし、健康で元気に暮らすために『しゃんしゃん体操』をしてみませんか。

2022年度 活動内容

- しゃんしゃん体操活動(通年)
- 野外活動(4/8)
- グラウンドゴルフ(10/28)
- クリスマス会(12/23)

介護予防を目的とし足腰を鍛え、寝たきりにならないよう多くの方の参加をお待ちしています。

講習会 第2・4金曜日 13:00~14:00 富桑地区公民館



▲ しゃんしゃん体操活動



▲ 野外活動

同和教育推進協議会

会長 高田 義昭



差別事件に学ぶ

会長 高田 義昭

今回発生した差別事象は、富桑地区ではじめての出来事であり、絶対に許せない悪質極まりない事件であると捉えております。

自分が、このような被害を受けたら、怒りを通り越して思考も止まり、途方に暮れ、やり切れない、むなしい毎日を過ごすことになると思います。

今、加害者は、「やってやった」なのか「取り返しのつかないことをしてしまった」なのか、後者であることを願っております。

日頃困ったことが起きた場合、一人で考えこむことなく何でも気軽に相談でき、親身になって対応してくださる人が、身近におられると思います。

これこそが、地域における共感・共生であり、各々が日常生活の中でコミュニケーションづくりに努力すべきことだと思います。

今後の課題として、同様な問題に対し、迅速かつ的確に対応できる体制を確立することが急務であると考えております。皆さまのご支援・ご指導を切にお願い申し上げます。

富桑地区人権宣言

21世紀のキーワードは国際化、情報化にともない「平和」「人権」「福祉」「環境」といわれ、とりわけ人権尊重は平和の基礎であり世界の人々の幸せと繁栄に欠くべからざるものとして共通の認識となりつつあります。

私達の鳥取市富桑地区も古くから農業を中心として発展をし、歴史、文化を大切にしながら、心優しく人情あふれる地域として栄えてきました。しかしながら、「同和問題の解決は国の責務であり、国民的課題である」とした同和対策審議会答申から30年が経過した今日、部落差別をはじめあらゆる差別が厳存しています。この様な状況に鑑み(かんがみ)、今まさに、富桑地区挙げて人権意識、人権感覚をさらに高め、部落差別をはじめ一切の差別撤廃に向けて、人権尊重の情報発信基地として求められています。

私達の富桑地区の目指す21世紀の街づくりは、すべての人間が人として尊重されすべての人間が人間らしく生きる街づくりです。

今、ここに富桑地区人権宣言を発し、交流・共感・共生をもってお互いの努力により被差別、加差別の立場をのりこえ、反差別社会の実現に向けて邁進(まいしん)する事を宣言します。

1996年6月8日

富桑地区同和教育推進協議会

「富桑地区人権宣言」をつくって

富桑まちづくり協議会 会長 西川 照夫

富桑には同和地区があり、部落差別をはじめ色々な差別で悩み、苦しんでいる人がたくさんいます。

しかし、「私は差別する気はないです。私には差別意識はありません」と言ったり、思ったりしていて、何もしない人の多い現実があります。

差別がある限り安心して暮らせません。差別をなくすために、一人ひとりが具体的に取り組みをしないかぎり問題は解決できません。

被差別・加差別の立場を乗り越えて、富桑地区に暮らしているみんなが一緒に手をつなぎ、輪になって共に活動をする。



言をつくりました。

住民による鳥取で初めての人権宣言であり、私たちの誇りにもなっています。なお、富桑地区のみんなが手をつないでいる姿をロゴマークにしています。

楽しさや喜びを共に感じ、苦しさも皆で分かち合うことにより、共感でき、お互いを認め合う人間関係をつくり出し、誰もが安心・安全・幸せに暮らせる地区になることを目指して、人権宣

2022年度 活動内容

- 役員研修会(7/7)
演題『いのち燃ゆる～被差別民衆の担った文化～から学ぶ』
講師 小山 邦将さん(鳥取市人権教育推進員)
- 人権講演会(9/17)
演題『部落差別は今～部落差別解消推進法制定から6年、全国水平社創立から100年、差別解消に向けた課題は～』
講師 下吉 真二さん(倉吉市人権文化センター所長)
- 同和教育研修会(2/18)
演題『もう少しだけスピードを上げて～人権の「世界の流れ」に追いつくために～』
講師 江嶋 修作さん(解放社会学研究所 所長)

- 西中校区人教連(10/29)
- 市街地ブロック総会研修会(5/27)
- 市街地ブロック全体研修会(9/9)
- 市街地ブロック役員推進員研修会(3/3)



▲ 人権講演会



▲ 同和教育研修会



▲ 小地域学習会

「江嶋修作さんの講演会に参加して」

副会長 井谷 紀夫

富桑地区で起きた差別事件、「坊主にくけりゃ、袈裟までにくい」そんなことを、思い浮かべました。

匿名の手紙、いったいどう折り合いをつけたらいいのやら。ののしったって、気持ちは晴れないし、本当にええ加減にせいやーです。

罰則がなければ、自分の身に影響が及ばなければ、何でも許される。そんな身勝手は必ずや……。こんな気持ちで講演会に参加しました。

講師の江嶋さんは、『若者が語る人権・同和教育の問題点』として次の3点を提起されました。

1.「そこにリアリティはあるかい」

この差別事件を熱のある内に多くの人に伝える。

2.「おもん(面白くない)ない」

正論での人権・同和教育ではみんなの心は動かない。

3K(固く、暗く、繰り返し)イメージの打破。

3.「何の役にもたたん」

差別は突然やってくるもの。事件の内容を伝え、どうやって闘っていくか具体的に教えるべきだ。

いままでのやり方では、世代間の溝がますます深くなると、気づかされました。上記3点の提起から、一人ひとりに自分の事として考えてもらえるよう、努めていきたいと思いました。



2022年度 小地域学習会実施状況

実施日	町内会	町内出席者数	座長
11/6(日)	千代町1・2・3区	16	西川 秋夫
11/19(土)	行徳3区	11	福田 睦史
11/23(水)	新茶屋	11	西川 照夫
11/26(土)	西品治1・2・3区	5	松本 広幸
12/4(日)	寿団地	17	西川 照夫
12/9(金)	行徳2区	10	福田 睦史
12/10(土)	西品治6区	5	西川 秋夫
12/11(日)	西品治7区	4	西川 秋夫

実施日	町内会	町内出席者数	座長
12/17(土)	西品治4・5区	10	西川 秋夫
1/8(日)	田島2区	12	福田 睦史
1/15(日)	行徳1区	13	福田 睦史
	元品治2区	8	西川 照夫
1/22(日)	元品治	17	西川 照夫
3/5(日)	平成町	11	福田 睦史

小地域学習会の内容は次ページ

富桑地区で起きた差別事件に学ぶ

昨年9月20日、富桑地区で初めて個人を対象にした悪質な差別事件が起きました。部落差別を利用した許されない行為です。

差出人の名前がない手紙が個人宅に郵送で届いたのです。内容は部落差別をはじめ、誹謗中傷、人権侵害の言葉が10行にわたり並び、差出人は同じ町内に住み、町内の行事や仕事を一緒にしてきた人がパソコン等で書いたものと思われます。

同推協ではすぐに差別事件と判断し鳥取市に報告、市は県や法務局、関係団体に届けました。富桑地区としては、まず小地域学習会でこの差別事件を一人ひとりが自分の事として受け止め、共有することから始めようと考えました。

さらに、江嶋修作さんに講演をお願いしました。差別を許さない、差別を無くしたいという強い思いで新たに学び直しています。



今回の差別事件を周知・共有化するため、各町内会で「小地域学習会」を開催しました。参加された方から下記のようなご意見をいただきました。

小地域学習会参加者のご意見より抜粋

差出人はなぜこんな事をしたのか

- * 部落に対する差別意識のかたまり。
- * うらみ、つらみ、ねたみ。
- * 人を見下している。憶測でものを言っている。自分勝手である。
- * 差出人は根本的に人に対する敬意がない、まず人間としての前提条件が崩れている。
- * 自分の不満を晴らすのに、差別を使っている。

このような文書を受けとったら どのような思いになるか

- * 恐怖と悲しさ、不安、怒り、憤り。
- * 人間不信になる。
- * 証拠を保存し警察に通報、訴える。
- * 強欲とか守銭奴、差出人がそうなんじゃないか。
- * 謝罪してほしい。
- * 一生涯ずっと心に傷として残る。
- * 決して許せません。

小地域学習会に参加して

元品治町内会 瀬戸川 正章

水平社宣言から100年、中でも近年の50年間、みんなが真剣に学びあってきました。

今も随所で報告される差別事象。私は、何かのひょうしに、心の奥底にある「差別の心」が、本音として表面に出てくる冷たき氷のように思えてなりません。

だからこそ、小地域学習会などに積極的に参加し正しい知識を身につけ、「知識を知恵」にかえていきたいものです。

差別を次の世代に残さないためにも、一步一步まなび直し、時代が求めている「心の財(たから)」のパイオニアとして人権啓発をさらに進めていきたいと決意しております。

相談を受けて、心からの交流を

顧問 高嶋 壮司

昨年の9月「ちょっと相談を」と電話があり、お会いすると匿名の手紙。開けてびっくり！

“えっ、なに？ これは”同じ町内の人ではないか。今でもこんな人がおるのかと動転。いても立ってもおれず、すぐに公民館へ連絡しました。

ここは住みよい所だと自慢していたのに、落胆の極みでした。

しかし、同推協会長様を始め関係各位のご尽力により、全町内で学習会が開催されました。感謝に堪えません。

ところで、考えて見ますと手紙の差出人も差別意識の虜(とりこ)になってしまった被害者の一人ではないかと思うのです。差別がある限りみんなの幸せは望めません。お互いに分けへだてない心からの交流・共感・共生、幸せに生きられる富桑地区をつくらうではありませんか。

PICK UP! 江嶋先生の講演より

1 差別は「いま、ここ」

歴史的な事や未来の理想社会の事でもない。差別は私たちの日常生活の中で起きている。

2 差別、いじめには「理由、根拠がない」

あるのは差別する側の言い訳である。

3 どうして、差別、いじめが発生するのか

自分の劣等感やねたみなどマイナス感情を誰かにぶつける解消法である。

絶対に許さない!!

富桑地区自治会 副会長 水口 稔

富桑地区で差別事象が起きたことに怒りを感じる。同じ町内で、資源回収に共に働いた人が、個人あてに郵送してきた文書は、受取人がガクゼンとする内容であった。

私は、受取人のショックを思うと、いても立ってもいられなかった。同じ町内の人に対して、人間不信もはなはだしく誰とも顔を合わせたくないだろう。「一人の人間を、まともに生活できない精神状態に追い詰めたのだ。」という事を差出人はわかっているのだろうか！探し出し、問いただしたい気持ちである。

安全・安心なまちを富桑地区全体でつくり上げていくことをモットーに、大人から子どもまで、差別のない町づくりをしないといけないと、強く思っている。

積極的に地域の活動に参加を

西人権福祉センター所長 松本 広幸

本年度、富桑地区内で投書による差別事件が発生しました。地区同推協・まちづくり協議会が率先して危機感をもって小地域学習会を開催し、再発防止・意識改革に取り組んでおられます。

「罪を憎んで人を憎まず」犯人捜しで攻撃するのではなく、考えを改めて頂き、受け取った人の心のケア・支援をしながら地域をあげて理解を深め、あらゆる差別の解消に取り組む事が「住みよい富桑のまちづくり」に繋がると考えます。

そのためには、積極的に人権講演会や地域の活動へ参加して学習を積み重ね、正しい知識を身に付け、お互いの人権を尊重し、薄らいでいる地域の繋がりの復活・対人関係・地域の和を強固にする事が必要なのではないかと思います。



社会福祉協議会

会長 安達 信義

『福祉』とは ふつうの
くらしの しあわせ

会長 安達 信義

富桑地区の皆様には、常日頃富桑地区社会福祉協議会、ならびに活動にご協力を頂きありがとうございます。

本年度は、ウィズコロナという新たな生活様式の下、いろいろな行事が復活してきています。とは言え、十分な配慮や対策は求められます。

社協の活動もその都度、変更を加えながら運営をしてきました。そのため本年度も、『ふれあいデイサービス』『地域ふれあい・いきいきサロン』『歳末たすけあい』事業にとどまりました。

今後、地域の皆様と共に福祉活動が展開できますよう頑張っていきたいと思ひます。

活動内容

1. ふれあいデイサービス事業
2. 食事サービス
3. 世代間交流事業
4. 福祉関係研修会の開催
5. 敬老事業
6. 地域ふれあい・いきいきサロン事業実施の協力
7. 各種福祉活動への支援
8. 心身障がい者団体への支援と交流
9. 広報誌の発行
10. 共同募金活動への協力

- ①福祉の向上
- ②地域の絆を深めて孤立をなくす
- ③社会的弱者への支援対策
- ④サロンの充実

2022年度 ふれあいデイサービス事業

高齢者が楽しいひとときを過ごす集いの場
毎月第2火曜日 9:30～ 富桑地区公民館



▲ 9月「スーパーボールすくいと射的」



▲ 11月「季節の寄せ植え」



▲ 12月「干支をつくりましょう」



▲ 1月「みんなで体を動かしましょう」

金婚・ダイヤモンド婚 おめでとうございます

金婚 9組
ダイヤモンド婚 2組

鳥取市主催記念祝賀会 中止
対象者には記念品贈呈

益々のご健康とご多幸をお祈りいたします。

敬老会事業

各町内会が行う敬老会への助成

対象者 524人
(75歳以上)

歳末たすけあい事業

「ひとり暮らし高齢者支援」として「カップ麺とみかん」を民生委員さんの協力で配布

対象者 155人

ふれあい・いきいきサロン事業

今年度27サロンが様々な工夫をしながら運営し、『地域のつどいの場』になっています。

共同募金、賛助会費

395,450円

たくさんの方にご協力いただき、ありがとうございました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

- 食事サービス
- 世代間交流事業
- とまり組福祉員研修

追悼

当会の副会長、そして会計として長らく諸活動を支えてくださった中河道雄さんが2023年2月に逝去されました。

心よりご冥福をお祈りいたします。

青少年育成協議会

会長 川島 忍

2022年度 活動内容

- 登下校時のあいさつ運動の推進(年間)
- 保育園折り紙事業(8月)
- くわのみ夏休みお楽しみ大会(8/23)
- じどうかんでレッツハロウィン(10/29)
- XMAS GAME FESTA(12/24)



▲ くわのみ夏休みお楽しみ大会

交通安全協会 富桑支部

会長 中原 藤吉

2022年度 活動内容

- 交通安全運動(春夏秋冬)
- 街頭指導(通行する車への呼びかけ)
- 毎朝の登校時交通安全指導
- 小学校あいさつ運動と見守り隊
- 小学校交通安全教室、自転車教室
- 生活安全教室



▲ 高齢者交通安全教室及び特殊詐欺被害防止研修会

民生・児童委員協議会

会長 西川 秋夫

活動目標

民生委員は民生委員法により設置が定められ、職務の重要性に鑑み、厚生労働大臣から委嘱され、その身分は、非常勤の特別職の鳥取市公務員とされています。民生委員は児童委員を兼ねることとされています(児童福祉法第16条)。また、子どもや子育て家庭への支援を専門に担当する主任児童委員は、児童委員の中から厚生労働大臣により指名されます(児童福祉法第16条)。その任期は一斉改選から3年で、民生委員・児童委員はボランティアとして活動しています。

民生委員・児童委員は、自らも地域住民の一員として、住民の生活上の様々な相談に応じ、行政をはじめ適切な支援やサービスへの「**つなぎ役**」としての役割を果たすとともに、高齢者や障がい者世帯の見守り役や安否確認などにも重要な役割を果たしています。

びよびよサークル



主任児童委員 河上 博子

2022年度も感染対策のため、予約・定員制にし毎回定員いっぱいの参加がありました。

昨年より富桑地区の親子の参加が多く、地域での輪が広がっていると感じました。びよびよサークルが子育て家族の憩いの場、つながりの場になればいいなと思っています。

会場となっている西品治児童館のYouTubeチャンネルで2022年12月のサークルの様子が観れますので、ぜひご覧ください。

お母さん、お父さんだけでなく、おじいさん、おばあさんもお孫さんと一緒にびよびよサークルに来てください。

2022年度 **びよびよサークル**

4月	じどうかんであそぼう！	10月	ハロウィン・リトミック
5月	ばぶばぶ運動会&身体測定	11月	リズムあそび
6月	リトミック	12月	クリスマス
7月	たなばた&ごはんのはなし	1月	おしょうがつあそび
8月	みずあそび(中止)	2月	バレンタイン
9月	歯をたいせつに	3月	絵本のよみきかせ

地区担当者

行徳1区	高田 澄江	新茶屋・元2	藤田 恵子
行徳2区	福田 博	西品治1・2・3・6区 北団地・田島2区	欠員
行徳3区	今村 卓志	西品治4・5・7区 県住・平成町	西川 秋夫
千代町	川上 るみ子		
寿団地	上住 研治	主任児童委員	河上 博子
元品治	井谷 紀夫		水口 正子

基本姿勢

1. 社会奉仕の精神
2. 基本的人権の尊重
3. 政党・政治的目的への地位利用の禁止

基本的性格

1. 自主性
常に住民の立場に立ち、地域ボランティアとして自発的・主体的な行動を行います。
2. 奉仕性
誠意を持ち、地域住民と連帯感を持って、謙虚に、無報酬で活動を行うとともに、関係行政機関の業務に協力します。
3. 地域性
一定の地域社会(担当区域)を基盤として適切な活動を行います。

活動の原則

1. 住民性の原則
自らも地域住民の一員である民生委員・児童委員は、住民に最も身近なところで住民の立場に立った活動を行います。
2. 継続性の原則
福祉問題の解決は時間をかけて行うことが必要です。
3. 包括・総合性の原則
個々の福祉問題の解決を図ったり、地域社会全体の課題に対応していくために、その問題について包括的、総合的な視点に立った活動を行います。

はたらき

- | | |
|---------|------------|
| 1. 社会調査 | 実態、福祉需要の把握 |
| 2. 相談 | 相手の立場で相談に |
| 3. 情報提供 | 内容を的確に |
| 4. 連絡通報 | 必要な対応のつなぎ役 |
| 5. 調整 | サービスの支援 |
| 6. 生活支援 | 支援体制 |
| 7. 意見具申 | 関係機関へ具申 |



西人権福祉センター



所長 松本 広幸



〈 2022年度テーマ 〉
あらゆる人権差別を無くし、
孤独・孤立の無い住みやすい
地域を築く

鳥取市西人権福祉センターは社会福祉法第二条に基づく社会福祉施設として、地域住民の生活課題に応じて実態調査や、研究事業をはじめ、各種相談事業、啓発及び広報活動、地域福祉事業、地域交流事業など推進する開かれたコミュニティセンターとして事業に取り組んでいます。

相談事業

地域に根差し、身近な相談窓口として多様化する相談内容に、地域・関係機関・行政等と連携し、相談者に寄り添った相談対応を行っています。

人権啓発事業

部落差別を始め、あらゆる人権差別の解消に向けた取組を行っています。

NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構 副理事長 伊賀 公一さんに『人の多用な色覚と社会』、解放社会学研究所 所長 江嶋 修作さんに『もう少しだけスピードを上げて』と題して、2/8にご講演を実施しました。

今なお現存する部落差別・障がい者に対する偏見的な差別等、あらゆる差別解消に向け、正しい知識を習得し、お互いの人権を尊重し「差別のない住みやすい地域」づくりに取り組んでいます。

地域福祉事業

サテライト事業 4会場へ出張事業として開催

いつまでも健康で幸せな日々を過ごせるよう、自立支援のための体力づくり、また地域の方々が集えるコミュニティの場としての介護予防教室です。



孤立防止ママ運動事業 西人権福祉センターで開催

リトミックを通して親子のふれあい、コミュニティづくり、育児の孤立防止を図り、親子・家族参加で和気あいあいの雰囲気の中、子育て支援に取り組んでいます。



コミュニティ事業

子ども食堂 毎月各1回 西人権福祉センター・西品治児童館

コロナ禍で子どもたちと一緒に食事をするのができませんが、調理した弁当を手渡し会話しながら、子どもの生活状況の把握に繋がっています。



ささえあい食堂(地域食堂) 毎月1回 2会場で配布

調理ボランティアの方々の協力のもと、テイクアウト弁当を、西人権福祉センターと富桑地公民館で手渡し配布しています。高齢者の実態把握と、孤独・孤立防止に繋げる事業として取り組んでいます。



いきいきサロン・健康体操 4会場で老人会を対象に開催

富桑地区内の老人会の協力を得て、健康な日々を送れることを願い健康体操を実施、体操後は、サロンで和やかな雰囲気会話を楽しみ、いきいきとした時間を過ごされており、高齢者の活力源となるよう取り組んでいます。



西品治児童館

館長 水口 稔

2022年度は例年にはないちょっとかわったことをやってみようということで、子どもたちの「やってみたい！をやってみる」をコンセプトにYouTubeチャンネルの開設や地元企業(TOTTORI COFFEE ROSTER・徳吉薬局)を講師にワークショップを行いました。

他にも「出前かにこ館」やSDGs活動に取り組んでいる親子ユニット「NICO Claft」を招いたり、クリスマス前には地元のオカリナグループの演奏など、バラエティに富んだ活動ができたと思います。

2022年度 児童館活動写真



▲ とっとり民話語り



▲ ちまきづくり



▲ じどうかんにかにこ館がくるよ〜♪



▲ NICO Claft SDGs WORKSHOP



▲ やきいも大会



▲ おやこ珈琲焙煎ワークショップ



▲ ハロウィンパーティー「地獄!!怒魂魔競争」



▲ メリクリライブ



▲ XMAS GAME FEST 2022



▲ お菓屋さんをやってみる。

2022年度 児童館活動 (2023年2月現在)

- JSK じどうかんスポーツ交流会
- お宝探検クエスト
- モルックであそぼう！
- ちまきづくり
- よるのじどうかん 光るデコうちわ [共催:富桑地区公民館]
- じどうかんにかにこ館がくるよ〜♪
- NICO Claft SDGs WORKSHOP
- ジドカンシネマ
- モルック大会 mini
- クイズウィーク
- じどうかんでレッツハロウィン [共催:青少年育成協議会]
- タイピング王決定戦
- やきいも大会
- 第1回ニシホンジジドウカンビリヤード大会
- おやこ珈琲焙煎ワークショップ [協力:TOTTORI COFFEE ROSTER]
- マジでガチのお宝探検クエスト
- メリクリライブ
- XMAS GAME FEST 2022
- 大掃除大作戦
- 超かるた大会
- 第61回全力まめつかみ大会
- お菓屋さんをやってみる。こども薬剤師体験 [協力:徳吉薬局 / 共催:富桑地区公民館]
- みんなでおつかれー！+BINGO！

- 随時
創作活動(イースターエッグ・スライム・たなばたかざり・ふうりんステンドアート・プレゼント・シャイニングたまご・ハロウィン・クリスマス・干支・アクリル・おひなさん・きせつのこうさく など)
Kosodate Cafe
YouTube「NJch. にしほんじじどうかんチャンネル」

- 定期
とっとり民話語り
出前じどうかん(富桑保育園 絵本の読み聞かせ)
びよびよサークル
[主催:富桑地区民生・児童委員協議会 / 共催:富桑地区公民館/西人権福祉センター]
ささえあいこども食堂 [西人権福祉センター・西品治児童館]

- 鳥取市12児童館合同イベント
とっとりこどもまつり
じどうかんフェスタ2022



イベント情報など
発信しています。

開館 火～土曜日 9:30～18:00
※ただし、小学校が月曜休校の場合、月曜開館
休館 日曜日・月曜日・祝日・年末年始
お問合せ TEL 26-9030



富桑地区公民館

館長 福田 睦史

公民館活動の
新たな形態の模索

館長 福田 睦史

今年度も鳥取県ではコロナ感染者数を更新する状況でしたが、公民館は来館者や参加者の安全に最大限の配慮をしながらの運営となりました。

コロナ禍で以前のような活動ができず、孤立化が心配でした。無気力感が蔓延しないよう工夫した事業を企画し、外出する機会を作り出すのも公民館の役割です。

そうした中で「ニュースポーツ」や「おいじたく老いを豊かに」、懐かしの「レコード鑑賞会」、毎月2回の「ふそう映画劇場」といった事業を行いました。そしてeスポーツも取り入れました。

今後も新たな活動形態を模索し、高齢者や若年層、子ども達の交流や支援のための場所提供や情報発信など、柔軟な発想で新しい事業を展開していきたいと思っています。

事業のふりかえり

昨年度より、鳥取西地域包括支援センターの共催で『おいじたく』事業を実施。体力低下といった課題を乗り越え、充実した日々を過ごすため、必要なのは“老いへの覚悟と備え”を認識し、人生後半期のやりたいことや過ごし方を再確認しました。

スマートフォン、パソコン等の相談事業では、一人一人の困り事や課題に個別に寄り添い解決しています。

月1回のニュースポーツ体験は、居場所づくりとして定着し、コロナ禍の事業で制限がかかる中、身体を動かすことが好まれました。

来年度も、地域の仲間と一緒にいきいきと活動ができる事業や居場所づくりに取り組み、さらに交流の場を広げ、地域の良さを再認識する学習の場を提供していきたいと思っています。



「とっとりの学びどころ」の見どころ

富桑地区公民館では「鳥取の学び直し」をしています。
今年度参加されたお二方の感想を紹介します。

山田 ひろ子

北条砂丘風力発電所と子守神社、青谷上寺地遺跡を見学しました。

風車を現地で下から見上げると大きな羽根は直径77m。風力発電は、二酸化炭素を削減し地球温暖化防止に貢献しているそうです。

青谷上寺地遺跡では、青谷弥生人を複顔し、「青谷上寺郎さん」と名付け、展示されていました。大量の骨が出土した現地説明を受け、発掘の様子も見学しました。すごいです。勉強になりました。

子守神社では、樹齢500年の大銀杏と大岩壁は圧巻でした。



夕食の時、「普段見れない所が見られてよかったなあ」と家族に言われました。また行きたいと思いました。

中村 さえ子

とっとりの学びどころに何度か参加していると、知らない事が多くあることに気付きます。研修先で説明を聞いているうちにその話に吸い込まれていき、学生の時の様な気持ちになります。青谷上寺地遺跡の事は少しは知っていましたが、現地の人の発掘されている姿に感動しました。毎日の地道な発掘のおかげで青谷上寺地遺跡展示館に多くの出土品があるんです。

新しく知った事を家族や友だちに話すことができ、ちょっぴり嬉しいです。

これからもいろんな事を見たいし、知りたいと思います。



富桑地区公民館の活動は次のページ

特色ある公民館活動

- デジもののホットと案内所(年間)
パソコン、タブレット、スマートフォンの困りごと相談
- 武部功遺作展(4/18～5/27)
- ふそう保健室(8/5)
『五感を刺激しよう』[共催:鳥取市保健所]
- おいじたく(9/28)
『老いを豊かに 人生会議してみませんか』
[共催:鳥取西地域包括支援センター]
- 足と靴の講演会(12/8)
『足もとから健康寿命を延ばすために』
講師 スマイルラボ 濱田 貴美子さん
- とっとり学びどころ
『大山口列車空襲と倉吉淀屋』(7/20)
『鳥取の戦争遺跡探訪』(8/26)
『北条砂丘風力発電所と青谷上寺地遺跡』(11/9)



▲ デジもののホットと案内所



▲ おいじたく

▲ 足と靴の講演会



▲ とっとり学びどころ
『大山口列車空襲と倉吉淀屋』

▲ とっとり学びどころ
『鳥取の戦争遺跡探訪』



▲ とっとり学びどころ「北条砂丘風力発電所と青谷上寺地遺跡」

地域の仲間づくり事業

- くわの郷マネジメント(年間)
- ニューススポーツ体験(計6回)
モルック、ポッチャ、パターゴルフ
- ココカラ体操(計6回)
- eスポーツ体験(計4回)
- レコード鑑賞会(6/30、11/30)
- 健康講演会(6/18)
演題『高齢期のカラダづくり～フレイル予防と栄養～』
講師 馬淵 牧子さん(Fitness Ja-んぐる)
- ペタンク大会(6/25)
- 写真撮影会(7/9)
- ボウリング大会(9/14)
- グラウンドゴルフ(10/28)



▲ ニューススポーツ体験



▲ eスポーツ体験



▲ レコード鑑賞会

▲ 健康講演会



▲ 写真撮影会

▲ ボウリング大会

人権啓発推進事業

- 人権講演会(9/17)
演題『部落差別は今 部落差別解消推進法制定から6年、
全国水平社創立から100年、差別解消にむけた課題は』
講師 下吉 真二さん(倉吉市人権文化センター 所長)
- 防災講演会(12/17)
演題『災害は忘れたところに』
講師 槇原 聡美さん(川辺復興プロジェクト「あるく」代表)
- 人権講演会(2/18)
演題『もう少しだけスピードを上げて』
講師 江嶋 修作さん(解放社会学研究所長)
- 福祉講演会(3/3)
演題『コロナ禍で変わったみとり』
講師 徳永 進さん(野の花診療所 院長)

子どもと大人のふれあい事業

- 児童館支援事業
『光るデコうちわ』
『お薬屋さんをやってみる。こども薬剤師体験』
- 富桑保育園支援事業
クリスマス制作
- ぴよぴよサークル支援
- 子ども映画劇場(7/26、11/4)



▲ 児童館支援事業『光るデコうちわ』



▲ 保育園支援事業『クリスマス制作』

趣味の教室・サークルの紹介

曜日	時間	教室・サークル名
月	月3回 16:00	謡曲・仕舞
月	月1回 18:30	ピラティス
火	第2・4 13:30	太極拳
火	毎週 13:00	安来節
火	月1回 13:30	秋桜句会
水	第1・3 13:30	詩吟
水	第1・3 12:30	ほっこりピアノ
水	第2・4 13:30	フォークダンス
木	第2・4 9:00	囲碁
木	第2・4 10:00	華道池坊
木	第1・3 10:30	オカリナ
金	第1・3 10:00	ヨーガ
土	第3 10:00	富桑の歴史と文化を語る会

随時各教室の様子を見学・体験できます。
お問合せは公民館まで。

公民館のご利用について

**事務室
開室時間** 平日 8:30～17:00

**事務室
閉室日** 土・日曜日・祝日

休館日 12月29日～1月3日

- 事務所開室時間外にも、館内施設をご利用いただけます。
その際は、鍵を受け取りにおいでください。
- 使用後は日誌の記入、後片付け、清掃、消灯、戸締まりをきちんと行ってください。
(ごみの分別にご協力をお願いします)
- 公民館利用者以外の無断駐車は固くお断りします。

寄稿

CONTRIBUTION

“子どもたちの笑顔”は富桑の宝

富桑小学校
校長 下田 智美

「笑」…これは、12月にとったアンケートで、6年生の子どもたちが選んだ「富桑小学校の今年の漢字」です。コロナ禍における生活も3年が過ぎようとしています。多くの制限がある中で、子どもたちは笑顔いっぱいに学校生活を送り、今できることを精一杯行っています。日々の学校生活や一つ一つの行事をとおして確実に成長していく子どもたちの姿や、「笑」がこの1年を象徴する漢字であったことを、大変嬉しく思います。笑顔あふれる子どもたちの姿は、まさに**富桑地域の宝**だと感じています。

本年度も、全校で行う恒例の「芋の苗植え」「芋掘り」、そして3年ぶりとなる校内マラソン大会後の「芋煮会」、2年生の「まち探検」、総合的な学習の時

間における3年生の「富桑音頭」「聖神社の麒麟獅子舞」など、地域に学ぶ学習も、地域の皆さまのご協力のもと行うことができました。

今後とも、学校、家庭、地域がしっかり連携を取り、子どもたちの生きていくうえでの土台に「ふるさと富桑を愛する心」を育みながら、笑顔あふれる学校をめざし、富桑小学校教育を推進していきたいと思っています。



寄稿

CONTRIBUTION

『根っことなる時期を大切に』

富桑保育園
園長 徳安 友代

健康な体づくりの一つとして、歩くことが大切だと言われています。車社会のため歩く機会が少ない中で、成長していく子どもたちに少しでも多く歩く経験をさせたいと考えています。

地域の公園や広場ではにぎやかな声を響かせることもあるのですが、多くの方から優しい声をかけていただき、子どもたちは大喜びです。子どもたちの一日一日はこれからの成長の根っことなる大切な時間です。

園内での活動も、まだ以前のようにはありません。地域の皆さまに寄せていただく優しさを感じながら、新しい時代を担う子どもたちの健康な体と豊かな感性を育んでいきたいと思っています。



編集後記

2020年から続いた新型コロナウイルス感染症に一定の区切りが着こうとしています。人と人の接し方や社会的に様々な状況が大きく変わった3年間でした。

ただ混沌とした世界情勢や急速なAIの進化など

から2023年以降もとても大きな変化や変革がなされそうな状況にあります。

富桑地区は、世界の日本の鳥取県の鳥取市の小さな「まち」ですが、その大きな変化に対応した「まちづくり」を推進していける「まち」にしていきたい。奥田 一仁



富桑地区Webサイト